

ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

27

VOL.



冬羽のカムリカイツブリ

撮影:TO

冬晴れの西の湖をおとずれると、なにやら白い羽の水鳥が首をすくめたまま湖面を移動しているのではないですか。何鳥だろうと思えばらく追いつけているとようやく頭を持ち上げました。長い首と頭の上の褐色の毛が少しですが立っておりカムリカイツブリだと気づきました。以外に人を恐れず至近距離まで近づくことが出来撮影に成功。後で調べて見ると、この時期は冬羽で覆われ、わりと地味な風貌ですが、夏羽に衣替えすると頭部は立派な冠状の羽になり赤褐色の飾り羽が生えた派手な風貌に変わるそうです。ちなみに滋賀県レッドデータブックでは「希少種」に指定されており個体数の少ない鳥だそうでラッキーでした。今度は夏に……

びわ湖を知る ■ 問題

滋賀県では学習船「うみのこ」の新船建造が進められています。さて就航予定はいつでしょうか。

- ①平成29年7月
- ②平成30年4月
- ③平成31年4月
- ④平成32年3月

特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館 副館長 高橋 啓一 様より



化石が教えてくれる太古の琵琶湖

【400万年前は古い？】

琵琶湖は400年以上の歴史がある湖です。400万年という時間は私たちの一生と比べると途方もなく長く、どれくらい昔なのか想像さえできません。ところが、これを「万年」ではなく「万円」に置き換えると、おとなの人なら意外と時間の長さをスーと理解できるようです。たとえば、宇宙の誕生は138億(円)年前、地球の誕生は46億(円)年前、恐竜の絶滅は6600万(円)年前、そして琵琶湖の誕生は440万(円)年前といえ、なんだ、琵琶湖ができたのはそんな昔でもないなあと思えてくるのではないのでしょうか。

【地層に残された化石を探る】

太古の琵琶湖やその周辺の様子は、大昔のそうした場所に泥や砂がたまってできた地層を見つけ、その中の化石を取り出して調べればわかります。ちょうど地層は分厚いノートや本のようなもので、その中に書かれている文字が化石に相当します。本を開いて中に書いてある文字を読めば当時の様子がわかるのです。古い時代のことは本の最初の方に書いてありますし、新しい時代のことは本の終わりの方に書いてあります。琵琶湖の歴史は440万年なので、440ページの本にたとえることができますが、かなり厚い本であることがお分かりになると思います。



『伊賀市を流れる服部川の河原からは
370～350万年前の化石が発見される』



『370万年前の地層から発見されたゾウとワニの
足跡化石。小さなくぼみがワニの足跡化石』
(岡村喜明氏：写真提供)

本に書かれた文字を読むには技術が必要です。欧米の人が私たちの使っている漢字やひらがなを見てもひとつも意味がわかりません。わたしたちは、学校で何年もかけてようやく漢字が読めるようになりますが、同じように化石の研究をするためには何年も専門の勉強をして、やっと化石が語っていることを理解できるようになります。私は、骨や歯の化石を専門としていますが、この研究をするために大学では地質学を学び、卒業してからは解剖学教室に就職して骨や歯、筋肉や神経などの勉強をしました。そして、今は琵琶湖の周辺から見つかったひとかけらの歯や骨の化石を調べるために、国内各地の博物館や研究施設をめぐることはもとより、必要があれば海外にもいってすでに発見されている標本との比較も行ったりもします。このようにして、太古の琵琶湖やその周辺にいた生き物たちの様子が一歩ずつわかっていきます。

特集 2ページ



『370万年前のワニの足跡化石』
(琵琶湖博物館所蔵レプリカ)



『360万年前の琵琶湖
にいたワニの歯の化石』



『370万年前の地層から発見
されたサイの足跡化石。
三本の指が確認できる』
(岡村喜明氏：写真提供)

【古琵琶湖の動物化石】

琵琶湖やその周辺の湿地にたまった地層は、専門的には古琵琶湖層群という名前がつけられています。この中からは、これまでゾウ、サイ、シカ、ウシ、イノシシ、ウサギ、ネズミなどの哺乳類、ワニやカメなどは虫類の化石が発見されています。現在の日本では、ゾウ、サイ、ワニなどは動物園でしか見ることができませんが、化石を調べることで過去には本当に琵琶湖のほとりを歩いていたことがわかります。文字通りそれらの動物が歩いた足跡の化石もたくさん見つかっています。それらを眺めながら、何十万年前、あるいは何百万年前にその場所をゾウやサイが歩いていた姿を思い浮かべると、とてもふしぎな気持ちになります。

琵琶湖の周りから見つかるゾウ化石には、ミエゾウ、アケボノゾウ、ムカシマンモスゾウ、トウヨウゾウ、ナウマンゾウと時代のうつり変わりに伴って5種類も発見されています。このうち、最も新しい時代のゾウはナウマンゾウで約3万(円)年前まで琵琶湖の周辺で生きていました。私たちの一生は、せいぜい100(円)年程度ですので、あまり遠い昔のことも、ずっと先の未来のことも考えることはできませんが、“わずか”3万年前までは今の琵琶湖とはまったく違う世界が広がっていたことを、化石たちは教えてくれます。この時代には、地球規模の非常に寒冷な時代が訪れはじめた時代で、森の木の種類も変化し、温帯の気候に適したナウマンゾウは国内から次々に絶滅してしまいました。やがて、1万5000(円)年前になると急速に温暖な気候が訪れましたが、もうこの頃には日本列島にはゾウは一匹もいなくなっていました。そして、植物や動物などの自然の様子は、今、私たちが知っている近い状態になっていったのです。長い時間の流れの中で見ると自然はダイナミックに移り変わっていきますが、それに比べると私たちの生きている時間はマバタキにも似た一瞬にすぎないので、化石たちが教えてくれる大きな自然の変化にはなかなか気づかないのです。



『1993年に行われた多賀町
アケボノゾウの発掘』



『最近でも多賀町では一般市民を
中心にした発掘が行われている』



『琵琶湖博物館ブックレット ①
として太古の琵琶湖にいた
動物の話が出ています』
(サンライズ出版)

ネットワーク 広場

「宇治川のヨシを守るネットワーク」
「伏見の環境を守る会」
幹事 中野 彰三 様より

宇治川（伏見区）のヨシについて

宇治川のヨシ原は観月橋から国道一号線までの35haをしめ、1980年の調査では西日本一のツバメのねぐらとのもこともあり、2008年頃から毎年8月初旬に野鳥の会を中心にツバメの観察会を行っています。

従来から主にヨシは文化財の屋根材に使用するため、地元業者がヨシ刈やヨシ焼などの地道な維持保全を長年に渡り行っていました。しかし、2010年にはヨシ焼が廃棄物処理にあたるとして行政から禁止の事態となりましたが、市民の環境保全活動が活発となり2013年にヨシ焼が復活したのです。併せて2015年頃から伏見地域活性化の環境テーマとして「宇治川のヨシを守るネットワーク」が設立され、今年2月12日には3回目となるボランティアによるヨシ刈を行うことができました。



『2月12日の宇治川ヨシ刈り』

【歴史・伝統文化としての宇治川のヨシについて】

この地には古くから、宇治川、鴨川、桂川、木津川の大きな流れが集まり、伏見・宇治・久御山地区にまたがる巨椋池（オグラ池、周囲約16Km、800ha）が自然に生まれました。この池を最初に本格的な工事に着手したのが豊臣秀吉であり、1590年頃の伏見城築城の際、軍事的、政治的な狙いとして太閤堤を築き、現在の観月橋を架け、ほぼ今の姿となるきっかけを果たしました。この巨椋池（現在の地名は中書島、向島、槇島）には広大なヨシ原があったのですが、昭和8年の干拓により現在は宇治川にヨシ原が残っているだけになったのです。

文化・伝統的面については、伏見にて1700年頃の起源とされる三栖神社で行われる神幸祭は京都三大火祭りのひとつです。毎年10月に開催されるこの神幸祭ではヨシで作られた直径1.2m、長さ5m、重さ1tのたいまつに火を灯し、街中をねり歩きます。そして謡曲「芦刈」、祇園祭の芦刈山、平安時代からの雅楽に使用されている箆（ひちりき）のリードにもヨシが使用されています。また近代小説には谷崎潤一郎「芦刈」に巨椋池が記述されています。



『三栖神社(神幸祭のたいまつ)』



『祇園祭のうちわとヨシの箆』

【宇治川ヨシ原保全活動の現状と今後について】

現状、伏見のヨシを知っている人は市民の約10%、また、生物多様性としてのヨシの知名度は低いです。この現状の中で、我々の運動は約3年前から環境展を中心にヨシ紙手スキ、ヨシズ体験教室を開催しています。また、最近ではヨシ紙を祇園祭のうちわ（2015年）にも一部使用されていたり、ヨシ+樹脂（バイオマスプラスチック）の食器（箸）などで認知度を高める活動をしています。特に、次世代の人々に伏見の歴史文化が自然環境のかかわりから生まれて現在に至っていることを知っていただきたいのです。昨年、伏見で関西のあらゆる分野の方が集まり「ヨシ原サミット」を開催する運動が始まりました。まずは、当地の情報発信を第一に、環境を保全する活動がより広がることを願っています。どうぞ伏見のヨシ原について再確認していただき、沢山の方にお越しいただきたと思っています。

ネットワーク アルバム

ヨシでびわ湖を
守るネットワーク



西の湖 ヨシ刈りボランティアのようす

2月25日・3月11日



『 雪で遅れていた刈り取りも一気にはかどりました。』



冬ヨシのバイオマス調査を実施！ (2/25・3/11)

冬のヨシ原の状況を調べるバイオマス調査。
琵琶湖博物館 学芸員さんと協働調査を始めました。

まず、第1回目は毎年手入れ(刈り取り・火入れ)をしている場所から・・・

数年の調査のデータからヨシ刈りの必要性和
ヨシ原の環境効果を科学的に実証していきます。



『 3×3mのプロットを決め 』



『 太さはどれくらい？ 』



『 重さを測定中 』




『 データの整理 』



『 調査方法の説明を聞くメンバー 』



『 高さは？ 』

びわ湖を知る ■ 解答 

② 平成30年4月予定

昭和58年(1983年)に就航以来、約52万人の児童が乗船。35年ぶりの新船の建造だそうです。

今シーズンの ヨシ刈リアルBUM

ヨシでびわ湖を守るネットワーク

**ヨシ刈り参加者
延べ 3,000名を突破!**

参加社名簿（敬称略：順不同）



2016年12月3日 伊庭内湖

(有) 本杉工機
愛荘町役場
旭化成住工 (株)
(株) 柿木花火工業
第一工業製薬 (株)
(株) パナホーム滋賀
(株) 伊藤園
日本電気化学 (株)
大冷工業 (株)
(株) 京進
フジテック (株)

住友生命保険
(株) ノエビア
東田電機産業 (株)
(株) ダイフク
近畿環境保全 (株)
日本電産 (株)
伊庭の里湖づくり協議会
伊庭内湖の自然を守る会
東近江市
(株) コクヨ工業滋賀

『 21社 166名と地元環境団体 』



2017年2月25日 第一弾 西の湖

パナソニックエコリレージャパン
びわ湖エコアイデア倶楽部
(株) パナホーム滋賀
琵琶湖博物館
澤本印刷所
京セラ (株)
スミ利文具店
東田電機産業 (株)
三菱重工工作機械 (株)
旭化成住工 (株)
(株) ダイフク

積水樹脂 (株)
(株) ノエビア
Myna(マイナ)
近畿環境保全 (株)
第一工業製薬 (株)
日本電産 (株)
(株) たねや
安土町商工会
東近江水環境自治協議会
(株) コクヨ工業滋賀

『 21社 203名の仲間 』



2017年3月11日 第二弾 西の湖

琵琶湖博物館
(株) ノエビア
コープしが
パナソニックエコリレージャパン
びわ湖エコアイデア倶楽部
澤本印刷所
東田電機産業 (株)
レンゴウ (株)

キューピー醸造 (株)
第一工業製薬 (株)
日本電産 (株)
愛荘町役場
安土町商工会
東近江水環境自治協議会
(株) コクヨ工業滋賀

『 15社 87名の仲間 』



2007年にスタートしたヨシ刈りは、延べ30回となり3216名の方のご参加をいただきました。「継続の力を実感です！」 来シーズンも変わらぬご支援ご協力をお願い致します。

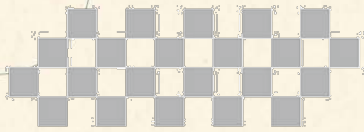
みんなの リエデン

REEDEN
PREMIUM

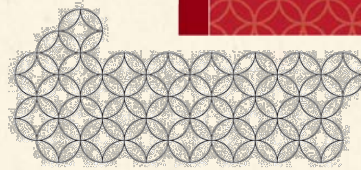
にほんのかたち

市松紋様

歌舞伎役者佐野川市松が舞台衣装の柄に用いたことで市松と呼ばれ、江戸時代から皆に長く愛されている紋様です



7mm 横罫
A5サイズ・50枚
6.5mm横罫
A6サイズ・40枚



7mm 横罫
A5サイズ・50枚
6.5mm横罫
A6サイズ・40枚

七宝紋様

輪が四方八方に繋がるように人の縁や円満は金や銀など「七つの宝」と同等の価値があるとされた吉祥紋様です

NEW 2017年3月30日発売

■A5ノート
価格:250円(税別)
寸法:148×210mm

■A6ノート
価格:185円(税別)
寸法:105×148mm
加工:ミシン目入り

艶めく
にほんのかたち
シリーズ →

